



日本製鉄釜石シーウェイブスでは、さまざまな社会貢献活動を行っています。その中の一つに、現役選手が小中学校で教えるタグラグビー教室があります。これは、市内の子どもたちへのラグビーの普及を目指して行われているものです。今回は、平田小で行われた「タグラグビー教室」に密着し、参加した選手や子どもたちにお話を伺いました。



左から時計回りで
 ①教室開催前の緊張しながらも心待ちの様子の子どもたち ②キレキレの動きでかわす
 ③選手も混じって試合形式での指導。笑顔と歓声が体育館に響く ④選手も感心する動きを見せる
 ⑤やっぱり選手は速い！懸命に追いかける子どもたち ⑥練習会の最後は選手と笑顔のハイタッチ

ラグビー選手の指導を受けてみて



平田小6年
山崎 健太くん

市内のタグラグビーの大会に出るために、9月ごろから練習を始めました。元々ラグビーをやっていたけど、タグラグビーを学校のみなどとできて良かったです。シーウェイブスの選手と一緒にラグビーができたことも楽しかったです。



平田小5年
阿部 颯太くん

近くで見るシーウェイブスの選手は、すごく大きくて格好いいなと思いました。3月のうのスタでの試合にも行ってシーウェイブスを応援したいと思います。春に転校予定ですが、次の学校でもラグビーができればいいなと思います。



平田小4年
三浦 駿太くん

11月の市内のタグラグビー大会に出場しました。ラグビーをやるのは初めてだったけど、シーウェイブスの選手と一緒にやれてすごく楽しかったです。来年もタグラグビーの大会に出場して優勝できるように頑張りたいです。

今回教えてくれた選手の皆さん



プロップ
野口 大貴 選手 (24)

教える立場としてこうした教室に参加するのは初めてでしたが、すごく楽しく参加させてもらいました。もともと子どもが好きなのでエネルギーが子どもたちからパワーをもらいました。

市民の皆さんの応援が我々の原動力になります。ホストゲームでは、ラグビーを知っている知らない問わず、来てくれた皆さんに目の前で「勝利」を届けるために、全力で体を張って頑張りたいと思うので、よろしくをお願いします。



ロック
美崎 正次 選手 (27)

今年は合計で30回以上、市内や県内の小学校を回り普及活動を行いました。自分も子どもたちに教えることは楽しいですし、やりがいもあります。

ホストゲームでは、長年応援していただいているファンの皆さんをはじめ、こうした普及事業でつながりができた小中学生などの若い世代にも足を運んでもらえると嬉しいです。寒い中での試合になるとは思いますが、その分我々が熱気を感じられる「熱い戦い」をするので、ぜひ見に来てほしいです。



プロップ
山田 裕介 選手 (25)

名古屋出身で今年からシーウェイブスに加入しました。名古屋もラグビーが盛んなまちですが、このように小学校を回ってラグビー教室を行うのは初めてだったので、やはりラグビーのまちだなと感じました。

ホストゲームでは、一人でも多くの人に会場に来ていただき、生のラグビーの音や熱気、雰囲気を感じていただければ嬉しいです。小学生たちもラグビーをこんなに身近に見る機会はないと思うので、ぜひ応援に来てください。